



2024 年 6 月 14 日

大阪大学外国語学部・外国学専攻主催 シリーズ「さまざまな視点で世界を見る」

第2回 「ことばが繋ぐ日越交流」

〈同日開催〉ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会

7/20 (土) @箕面キャンパス

14:00~16:30 (講演会「ことばが繋ぐ日越交流」)

17:00~19:00 (ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会)

❖ 概要

大阪大学外国語学部では、「さまざまな視点で世界を見る」と題した年次開催のイベントを開催しています。7月20日(土)に、第2回として、「ことばが繋ぐ日越交流」と題した講演会を開催します。

大阪大学外国語学部・外国学専攻では25の専攻語を教育・研究しています。また、箕面キャンパスは「OU グローバルキャンパス」として、社会に開かれた教育研究拠点となることを目指しています。

「さまざまな視点で世界を見る」シリーズでは、これらを踏まえ、各専攻語の教育・研究の特色を活かして、そのときに最も世界的な課題と関連付けられるテーマを設定しています。

2023年、日本とベトナムは外交関係樹立50周年を迎えました。在留ベトナム人数は中国に次ぎ出身国(地域)別第2位であり、技能実習生や特定技能外国人として日本に滞在する人々が半数を占めますが、そのほかにも様々な背景を持って来日した人々がいます。このようにベトナムは、日本と深い友好関係と協力関係にある国のひとつと言えます。

この講演会では、長年ベトナムの歴史や言語を研究する研究者、ベトナムに長年滞在し、家族介護の経験や残留日本兵に関する著作で知られる作家、そして複言語・複文化共存社会研究センター(阪大ふくふくセンター)でベトナムにルーツを持つ子どもたちの学びを支える学生が、それぞれの視点からベトナムについて語ります。

また、講演会後の17:00より、「ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会」を開催します。

つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご出席ならびに取材をご検討いただきますようお願い致します。



❖ 講演会「ことばが繋ぐ日越交流」概要

【日 時】 7月20日(土) 14:00~16:30 (13:00開場)

【場 所】 大阪大学箕面キャンパス外国学研究講義棟1階大講義室

住所: 大阪府箕面市船場東三丁目5番10号

Press Release

- 【対象者】 事前申し込まれた方
- 【定 員】 250 名
- 【講演内容】 日本とベトナムの交流について、冷戦下の日越の歴史や、両国の言語的特徴を踏まえながら、4 名の登壇者が講演します。
- 【申込み方法】 下記 URL もしくは右 QR コードからお申込みください。
URL : <https://2024samazama.peatix.com/>
- 
- 【参加費】 1,000 円
(講演会後の「ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会」で使えるドリンク・フードチケット込み)

❖ ことばが繋ぐ日越交流 イベント詳細 <プログラム>

1. 講演：小松 みゆき

「オ父サン私ヲ覚エテイマスカ？」

日本語教室の中に「オ父サン私ヲ覚エテイマスカ？」と片言の日本語で話す中年男性がいました。若い大学生に交じって肉体労働者らしき彼の目はギラギラしていました。冷戦下の国際情勢の中で子どもたちのところに別れた息子は父親と再会したとき自分の声と言葉で気持ちを伝えたいと教室にきました。ほかにも 2 人…。そうした具体例を紹介したいと思います。

2. 講演：清水 政明

「ことばから見るベトナム風気遣い」

ベトナム語は系統論的に日本語と異なるグループに属しますが、日本語と同様長年の漢語との接触により多くの漢字語を保有しています。また、儒教的な道德観が言語表現の随所に反映されています。この発表では、ベトナム語風の気遣いの仕方など、日本と微妙に異なる部分を紹介しつつ、ことばに込められた真心をお伝えできればと思います。

3. 講演：村上 裕紀

「ことばを通して成し遂げるベトナムへの恩返し」

「誰よりもベトナム語を上手になってみせます！」先生方に豪語して入学したベトナム語専攻。しかしベトナム語の習得は生易しいものではなく、今まで幾度となく壁に直面してきました。本講演では私がベトナム語を学ぶ過程で得られた教訓、そしてその教訓を現在どのように役立てているのかについて学生視点からお話しさせていただければと思います。

4. 講演（オンライン）：桃木 至朗

「ハノイで日越交流の将来を考える」

国交樹立 50 周年を祝った昨年、日越関係は過去最高の盛り上がりといわれましたが、日越双方の相手に対する研究や理解、それに必要な語学力や自国についての知識は、それにふさわしいものになっているのでしょうか。この発表ではあえて明るい話題と深刻な弱点の両方を取り上げ、これからの国際交流や外国語学部のありかたを考えてみたいと思います。

Press Release

<講演者紹介>

小松 みゆき

フリーライター。1947年、新潟県生まれ。70～80年代、会社勤めの後、1992年、日本語教師として2022年までベトナム在住。2014年、認知症の母親とのハノイでの生活を綴った『ベトナムの風に吹かれて』（角川文庫）を出版。後に同タイトルで日越合作映画化となる。2020年、日本語教師時代に関わった、ベトナム残留日本兵の家族をテーマにしたルポ『動きだした時計』（めこん）を出版。2022年春、帰国。東京在住。



清水 政明

大阪大学大学院人文学研究科教員。専門はチュノムという文字を用いたベトナム語史の研究、ベトナム語の教育。日本人にとって習得が難しいと言われるベトナム語をいかに楽しく効率的に教えるかを模索中。著書に『世界の言語シリーズ4 ベトナム語』（大阪大学出版会、2011年）、『漢字文化辞典』（共編著、丸善、2023年）、『漢字系文字の世界 字体と造字法』（共著、花鳥社、2022年）などがある。



村上 裕紀

大阪大学外国語学部ベトナム語専攻4年生。ゼミではベトナムのハノイに現存する集合団地の建て替えについて研究を行い、留学中にフィールドワークを実施。帰国後は阪大ふくふくセンターでメディエーターとして活動し、大阪府内の小学校に在籍するベトナム人児童への学習サポートを行っている。



桃木 至朗

大阪外国語大学（ベトナム語科）元教員、大阪大学（教養部、文学部、大学院文学研究科）元教員。現職はハノイ・日越大教員（JICA 専門家）。専門は歴史学、東南アジア地域研究、歴史教育。著作に『ベトナムの事典』（共編著、同朋舎、1998年）、『チャンパ 歴史・末裔・建築』（共編著、めこん、1999年）、『新版東南アジアを知る事典』（共編著、平凡社、2008年）、『市民のための世界史 第2版』（共編著、大阪大学出版会、2024年）などがある。



❖ 主催・協力・後援団体

主催 大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻

協力 （公財）箕面市国際交流協会、株式会社箕面ビール、大阪大学日本語日本文化教育センター、
大阪大学 21 世紀懐徳堂、大阪大学大学院人文学研究科、
大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター

後援 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館、在関西ベトナム人協会、箕面市、箕面市教育委員会

❖ <同日開催> ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会 概要

講演会終了後、箕面キャンパス 3 階ピロティ・阪大広場にてベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会」

Press Release

を開催します。

箕面市国際交流協会（MAFGA）が運営するコムカフェが調理したベトナム料理の販売・提供、箕面ビールの販売を行います。講演会に参加された方には、箕面ビールもしくはオーガニックジュース 1 杯と揚げはるまき 2 本付きのドリンク・フードチケット 1 枚をお渡しします。

※「ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会」のみのご参加も可能です。

- 【日 時】 7 月 20 日（土） 17：00～19：00
【場 所】 大阪大学箕面キャンパス 3 階ピロティ・阪大広場
【対象者】 どなたでも（申込不要）

❖ 取材申し込みについて

本イベントについて取材していただける場合は、会場設営の関係上、
7 月 17 日(水)17 時までに以下の Web 登録フォームから申請をお願いします。

URL： <https://forms.office.com/r/KnGSZqN2MC>



メディア関係者
参加登録フォーム

❖ 協力団体紹介

（公財）箕面市国際交流協会（MAFGA）

箕面市国際交流協会（Minoh Association For Global Awareness／略称 MAFGA）は、1992 年 6 月に設立されました。以降、外国人市民の人権保障、多文化共生社会の実現、市民参加による地域づくりの推進という 3 つのミッションを掲げ、多くの市民、ボランティア、行政との協働のもと、外国人市民の相談窓口やにほんご・こども事業、大学のキャンパスを活かした「学生・若者が地域とつながる居場所『ひとこま』」など、さまざまな事業を展開しています。2013 年、2023 年からは、それぞれ箕面市小野原西にある「箕面市立多文化交流センター」と、箕面船場阪大前駅にある「箕面市立市民ギャラリー（愛称：チカノバ）」の指定管理も行っています。

株式会社箕面ビール

箕面ビールは、大阪箕面に誕生したブリュワリー（ビール醸造所）で、1997 年に製造を開始して以来、これまで数々の世界コンクールで金賞を受賞するなど国内外から高い評価を得ており、地元箕面市民に愛されている企業の一つです。また、地元の自治会と共催のイベント「創業感謝祭」を開催するなど、地域活性化にも力を入れています。